



2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年8月6日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・CFO
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東
TEL 03-3205-5111

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	185,036	11.2	23,312	5.1	21,856	4.7	22,924	4.4	15,873	13.1
2024年3月期第1四半期	166,470	11.5	22,186	65.2	20,879	57.5	21,960	57.0	14,031	86.3

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円銭		円銭	
2025年3月期第1四半期	52.46	52.13		
2024年3月期第1四半期	46.15	45.86		

当社は、2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除した指標であります。

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	
2025年3月期第1四半期	811,128	535,028	491,827	60.6				
2024年3月期	812,382	535,010	493,185	60.7				

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2024年3月期	—	80.00	—	40.00	—
2025年3月期	—				
2025年3月期(予想)		35.00	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期第2四半期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2024年3月期の年間配当金合計については、株式分割の実施により単純合算が出来ないため、「—」と記載しております。株式分割を考慮しない場合の2024年3月期の期末配当金は120円00銭、年間配当金は200円00銭であります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	
通期	785,000	7.1	84,600	5.0	76,000 ～80,000	3.6 ～9.0	54,500 ～57,500	0.6 ～6.1	179 ～189	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期の連結業績予想については、既存事業コア営業利益の5～10%の範囲内で積極的な新規事業投資を行っていくため、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	308,584,500 株	2024年3月期	308,584,500 株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	7,436,467 株	2024年3月期	4,507,522 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	302,574,643 株	2024年3月期1Q	304,057,174 株

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比11.2%増の1,850億36百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益(注1)は前年同期比5.1%増の233億12百万円、営業利益は前年同期比4.7%増の218億56百万円、税引前四半期利益は前年同期比4.4%増の229億24百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比13.1%増の158億73百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比6.8%増の1,778億14百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比0.3%増の222億44百万円となりました。(注2)

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

(注1) 既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

(注2) 2025年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2024年3月期	2025年3月期	対前年同期	
	自 2023年4月1日 至 2023年6月30日	自 2024年4月1日 至 2024年6月30日	金額	%
売上収益	166,470	185,036	18,565	11.2
既存事業コア営業利益	22,186	23,312	1,126	5.1
営業利益	20,879	21,856	977	4.7
税引前四半期利益	21,960	22,924	963	4.4
親会社の所有者に帰属する四半期利益	14,031	15,873	1,842	13.1

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類、カップライス類が売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。カップめん類では、「カップヌードル」、「日清のどん兵衛」、「日清焼そばU.F.O.」ブランドの主力商品は売上が堅調に推移し、さらに2024年4月発売の「カップヌードル 和風魚介ぶしカレー」や2024年6月発売の「日清の辛どん兵衛 特盛きつねうどん」、2024年3月に全国販売へ拡大した「日清焼そばU.F.O. 爆盛パーレル」が売上に大きく貢献し順調に推移しています。カップライス類では、「日清カレーメシ」シリーズが引き続き好調を維持しています。袋めん類では、2024年3月発売の「日清ラ王 3食パック」シリーズが順調に売上を伸ばしました。利益面では、原材料価格や物流費の上昇等がありましたが、増収効果により増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比3.7%増の533億63百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比6.4%増の75億87百万円、営業利益は、前年同期比6.1%増の76億10百万円となりました。

②明星食品

明星食品㈱の販売状況は、多様なニーズに対応したマーケティング戦略が奏功し、カップめん類、袋めん類とも、前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、主力の「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズや「明星 ぶぶか油そば」が好調に推移したほか、2023年9月に新発売した「明星 一杯満足」も貢献しました。

袋めん類では、「明星 チャルメラ」シリーズが引き続き好調に推移しました。

利益面では、増収効果により、前年同期比で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比7.9%増の107億51百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比98.6%増の10億13百万円、営業利益は、前年同期比94.5%増の10億44百万円となりました。

③低温・飲料事業

チルド事業は、新商品の「チルド 日清焼そばU.F.O.」が売上に大きく貢献したほか、「日清Spa王」喫茶店シリーズや冷し中華群が好調に推移し、前年同期比で増収となりました。利益面では、売上増となったものの原価率の上昇等により前年同期比で減益となりました。

冷凍事業は、ラーメン類では「冷凍 日清中華 汁なし担々麵」、パスタ類では「冷凍 日清もちっと生パスタ」、「冷凍 日清スパ王プレミアム」の各シリーズの売上が好調に推移し前年同期比で増収となりました。利益面では、増収効果により前年同期比で増益となりました。

飲料事業は、「ピルクル ミラクルケア」シリーズの売上を維持しつつ、「ピルクル400」シリーズが前期休売品の販売再開によるプラスオンを含めて好調に推移したほか、「十勝のむヨーグルト」シリーズも好調に推移し、前年同期比で増収となりました。利益面では、マーケティング費用の増加等により前年同期比で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比9.7%増の254億62百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比7.0%増の28億88百万円、営業利益は、前年同期比8.0%増の29億22百万円となりました。

④菓子事業

㈱湖池屋は「湖池屋プライドポテト」シリーズ等の高付加価値商品に加え、「湖池屋ポテトチップス」などの定番商品や新製品「ランチパイ」等の販売が拡大し、また、国内外での価格改定が奏功したことで、前年同期比で増収増益となりました。日清シスコ㈱は「ごろグラ」や「シスコーン」シリーズといったシリアルに加え、「ココナッツサブレ」シリーズなどが好調に推移しましたが、ブランド強化を目的としたマーケティング費用の先行使用により前年同期比で増収減益となりました。ぼんち㈱は「ボンスケ」等の小麦商品が堅調に推移したこと、また販売促進費用の減少により、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比11.2%増の230億72百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比16.6%増の18億49百万円、営業利益は、前年同期比1.1%減の15億84百万円となりました。

⑤米州地域

米州地域全体では、引き続き新たな需要創造に向けた高付加価値商品の提案強化や導入推進に取り組んでいます。

売上については、米国では底堅い即席めん需要が続く中、普及価格帯商品の販売が堅調に推移したことに加え、為替影響も寄与し増収、ブラジルでは生産体制の強化により、「Nissin Lamem」等の主力製品を中心に販売数量が増加したことで増収となりました。

利益については、増収効果があったものの、米国においてマーケティング費用、物流費用等が増加したことにより、セグメント全体で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比21.9%増の419億81百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比3.1%減の60億80百万円、営業利益は、前年同期比3.0%減の60億75百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比9.1%増の375億83百万円となり、コア営業利益は、前年同期比13.6%減の54億25百万円となりました。（注4）

⑥中国地域

中国地域においては、販売エリア拡大や中国版カップヌードル「合味道」ブランドの強化、及び高価格帯袋めんの販売拡大に取り組んでいます。中国大陸では、景気回復が遅れている中、カップヌードル「合味道」BIGなどのカップめんや一部高価格帯袋めんの販売数が伸長しました。香港では、高価格帯袋めん「北海道出前一丁」の販売数が増加し、北米や欧米への即席めんや冷凍食品の輸出が伸長しましたが、香港市民の消費行動の変化や中国大陸や海外からの旅行者の伸びが鈍化し、即席めんや冷凍食品の販売は伸び悩みました。こうした状況の下、売上は為替影響により増収となりました。利益については、中国政府による技術革新助成金の減少により前年同期比で減益となりましたが、本業ベースでは新スマートラインによる生産性の向上、原材料価格の低下、為替影響もあり増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比10.8%増の164億58百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比3.2%増の13億36百万円、営業利益は、前年同期比4.3%減の13億32百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比0.5%減の147億89百万円となり、コア営業利益は、前年同期比6.6%減の12億9百万円となりました。(注4)

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比18.2%増の139億47百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比12.9%増の38億21百万円、営業利益は、前年同期比12.1%増の38億10百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比8.4%増の127億91百万円となり、コア営業利益は、前年同期比4.4%増の35億35百万円となりました。(注4)

(注3) コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものであります。

(注4) 2025年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億53百万円減少し、8,111億28百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の減少につきましては、主に有形固定資産が125億25百万円増加した一方、現金及び現金同等物が194億13百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ12億72百万円減少し、2,761億円となりました。これは主に借入金が230億5百万円増加した一方、営業債務及びその他の債務が170億21百万円、その他の流動負債が52億99百万円、未払法人所得税が14億23百万円減少したことによるものであります。

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ18百万円増加し、5,350億28百万円となりました。これは主に自己株式が119億36百万円増加(資本は減少)した一方、その他の資本の構成要素が71億17百万円、利益剰余金が34億55百万円、非支配持分が13億76百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の60.7%から60.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、772億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ194億13百万円の減少となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は16億81百万円(前年同期比125億65百万円の資金の減少)となりました。これは主に税引前四半期利益が229億24百万円となった一方、運転資金等の増加が127億66百万円、法人所得税の支払額が79億65百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は175億73百万円(前年同期比39億74百万円の資金の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が179億42百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は46億69百万円(前年同期比33億5百万円の資金の減少)となりました。これは主に短期借入金の純増減額が229億13百万円の増加となった一方、配当金の支払額が121億63百万円、自己株式の取得による支出が119億98百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	96,659	77,245
営業債権及びその他の債権	116,407	107,252
棚卸資産	64,060	71,625
未収法人所得税	1,137	1,756
その他の金融資産	18,752	17,920
その他の流動資産	7,832	11,918
流動資産合計	304,849	287,719
非流動資産		
有形固定資産	315,573	328,098
のれん及び無形資産	12,207	12,234
投資不動産	7,231	7,248
持分法で会計処理されている投資	95,577	100,677
その他の金融資産	59,228	58,689
繰延税金資産	16,619	15,152
その他の非流動資産	1,095	1,309
非流動資産合計	507,533	523,409
資産合計	812,382	811,128

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	161,453	144,432
借入金	12,941	36,062
未払法人所得税	7,819	6,396
その他の金融負債	4,905	4,776
その他の流動負債	26,377	21,078
流動負債合計	213,498	212,746
非流動負債		
借入金	21,911	21,796
その他の金融負債	17,037	17,251
退職給付に係る負債	5,293	5,305
引当金	469	421
繰延税金負債	16,408	15,837
その他の非流動負債	2,753	2,740
非流動負債合計	63,874	63,354
負債合計	277,372	276,100
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	44,054	44,059
自己株式	△11,341	△23,277
その他の資本の構成要素	65,570	72,688
利益剰余金	369,779	373,234
親会社の所有者に帰属する持分合計	493,185	491,827
非支配持分	41,824	43,201
資本合計	535,010	535,028
負債及び資本合計	812,382	811,128

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	166,470	185,036
売上原価	108,485	117,980
売上総利益	57,984	67,055
販売費及び一般管理費	40,223	48,178
持分法による投資利益	3,136	3,186
その他の収益	390	252
その他の費用	409	459
営業利益	20,879	21,856
金融収益	1,213	1,383
金融費用	132	315
税引前四半期利益	21,960	22,924
法人所得税費用	6,819	5,957
四半期利益	15,141	16,967
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	14,031	15,873
非支配持分	1,110	1,093
四半期利益	15,141	16,967
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	46.15	52.46
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	45.86	52.13

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期利益	15,141	16,967
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	4,476	△372
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	326	△268
純損益に振り替えられることのない項目合計	4,802	△641
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△11	38
在外営業活動体の換算差額	11,728	6,309
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	2,321	2,782
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	14,038	9,131
税引後その他の包括利益	18,841	8,489
四半期包括利益	33,982	25,457
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	31,531	22,755
非支配持分	2,451	2,701
四半期包括利益	33,982	25,457

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日 残高	25,122	43,585	△11,431	2,933	6,655	33	20,796
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	10,396	△10	4,466
四半期包括利益合計	—	—	—	—	10,396	△10	4,466
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	52	△32	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	39	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△0	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	38	51	△32	—	—	—
2023年6月30日 残高	25,122	43,624	△11,379	2,900	17,052	23	25,262

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金			
2023年4月1日 残高	3,584	34,003	339,147	430,427	37,522	467,949
四半期利益	—	—	14,031	14,031	1,110	15,141
その他の包括利益	2,647	17,499	—	17,499	1,341	18,841
四半期包括利益合計	2,647	17,499	14,031	31,531	2,451	33,982
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	△32	△19	0	—	0
配当金	—	—	△7,600	△7,600	△1,095	△8,696
株式に基づく報酬取引	—	—	—	39	—	39
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△0	△0	△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△343	△343	343	—	—	—
その他の増減	—	—	25	25	52	78
所有者との取引額合計	△343	△375	△7,251	△7,536	△1,042	△8,579
2023年6月30日 残高	5,889	51,127	345,926	454,421	38,931	493,352

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2024年4月1日 残高	25,122	44,054	△11,341	2,869	21,802	39	29,609
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	4,701	38	△372
四半期包括利益合計	—	—	—	—	4,701	38	△372
自己株式の取得	—	△17	△11,980	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△16	44	△27	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	42	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△3	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△4
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	4	△11,936	△27	—	—	△4
2024年6月30日 残高	25,122	44,059	△23,277	2,841	26,504	77	29,232

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
2024年4月1日 残高	11,249	65,570	369,779	493,185	41,824	535,010
四半期利益	—	—	15,873	15,873	1,093	16,967
その他の包括利益	2,514	6,881	—	6,881	1,608	8,489
四半期包括利益合計	2,514	6,881	15,873	22,755	2,701	25,457
自己株式の取得	—	—	—	△11,998	—	△11,998
自己株式の処分	—	△27	—	0	—	0
配当金	—	—	△12,163	△12,163	△1,416	△13,579
株式に基づく報酬取引	—	—	—	42	—	42
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△3	3	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	268	263	△263	—	—	—
その他の増減	—	—	8	8	87	96
所有者との取引額合計	268	236	△12,418	△24,113	△1,325	△25,439
2024年6月30日 残高	14,032	72,688	373,234	491,827	43,201	535,028

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	21,960	22,924
減価償却費	7,438	8,101
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17	△217
金融収益及び金融費用	△1,166	△994
持分法による投資損益 (△は益)	△3,136	△3,186
固定資産除売却損益 (△は益)	58	82
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,094	△6,460
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	9,710	10,586
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△10,948	△16,892
その他	△1,253	△5,789
小計	16,551	8,154
利息及び配当金の受取額	1,943	1,807
利息の支払額	△118	△315
法人所得税の支払額	△4,129	△7,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,247	1,681
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,360	△709
定期預金の払戻による収入	863	3,113
有形固定資産の取得による支出	△20,983	△17,942
有形固定資産の売却による収入	20	83
無形資産の取得による支出	△40	△160
投資の取得による支出	△52	△15
投資の売却、償還による収入	—	8
その他	4	△1,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,547	△17,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	8,306	22,913
長期借入れによる収入	1,019	—
長期借入金の返済による支出	△646	△559
自己株式の取得による支出	△0	△11,998
配当金の支払額	△7,600	△12,163
非支配株主への配当金の支払額	△1,095	△1,416
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	△0	—
その他	△1,347	△1,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,364	△4,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,964	1,147
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,701	△19,413
現金及び現金同等物の期首残高	87,388	96,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	80,687	77,245

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社制を採り、国内8事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」、「明星食品」、「低温・飲料事業」、「菓子事業」、「米州地域」、「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」、「明星食品」、「米州地域」、「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度において適用した会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	51,448	9,963	23,213	20,750	34,433	14,859	154,669	11,800	166,470	—	166,470
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	346	1,531	186	121	12	777	2,974	9,930	12,905	△12,905	—
計	51,794	11,495	23,400	20,871	34,445	15,636	157,644	21,730	179,375	△12,905	166,470
セグメント利益 (営業利益)	7,169	537	2,706	1,603	6,263	1,391	19,671	3,399	23,071	△2,191	20,879
金融収益											1,213
金融費用											132
税引前四半期利益											21,960
その他の項目											
減価償却費	3,521	526	629	730	510	719	6,638	791	7,429	8	7,438
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	3,136	3,136	—	3,136
資本的支出	2,708	333	239	774	11,472	1,971	17,499	1,747	19,247	△42	19,204

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,191百万円には、セグメント間取引消去等△229百万円、グループ関連費用△1,962百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	53,363	10,751	25,462	23,072	41,981	16,458	171,088	13,947	185,036	—	185,036
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	407	1,754	238	59	29	679	3,169	10,554	13,724	△13,724	—
計	53,770	12,506	25,700	23,131	42,011	17,138	174,258	24,502	198,760	△13,724	185,036
セグメント利益 (営業利益)	7,610	1,044	2,922	1,584	6,075	1,332	20,569	3,810	24,379	△2,523	21,856
金融収益											1,383
金融費用											315
税引前四半期利益											22,924
その他の項目											
減価償却費	3,618	526	673	763	849	703	7,134	958	8,093	7	8,101
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	3,186	3,186	—	3,186
資本的支出	4,647	311	1,765	669	6,774	748	14,916	2,782	17,699	—	17,699

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,523百万円には、セグメント間取引消去等△44百万円、グループ関連費用△2,478百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。